



mai Open Project) による事業展開など、まちなかの新たな誇りや愛着の醸成を図り、日常的なにぎわいの創出に取り組みでまいります。

また、本市公式キャラクター「とまちょっぴ」が生誕10周年の節目を迎えることから、記念事業を実施し、これまでの感謝を伝えるとともに、「ふくし大作戦IV2021」などと連携した取り組みを行い、本市のPRやふくしのまちづくりにつなげてまいります。

旧サンブラザビルの対応では、市民の皆さんにご心配をおかけしていますが、今後も司法場において、本市の考えを主張していくとともに、一日も早い駅前の再生と活性化の実現に向け努力してまいります。

2 地域経済をけん引する力強い産業の展開

企業立地の促進、港湾整備とポートセールの推進

企業立地の促進につきましては、全ての産業に対応し得る充実した交通ネットワークに加え、自然災害の少なさを冷涼で安定した気候など本市の優位性をPRし、企業ニーズに応じた誘致活動を実施してまいります。

脱炭素社会に向けた取り組みは、わが国が目指す「経済と環境の好循環」につなげるための、極めて重要な国家的チャレンジとなります。本市としてもカーボンリサイクルや水素の利活用、再生可能エネルギーの導入など脱炭素化の取り組みを地元産業と連携しながら進めることにより、産業誘致や地域経済の活性化に努めてまいります。

食関連産業においては、温度管理型冷凍冷蔵倉庫を核に、食と物流が一体となった新たな物流拠点フードロジスティクスの形成に向けた取り組みを推進し、農水産物の高付加価値化による道内産品の輸出拡大につなげてまいります。

苫小牧港においては、東港区周文ふ頭の連続バース化に向けた取り組みを進め、さらなる

港湾荷役の利便性向上と大規模災害などに備えるほか、真古舞地区中央北ふ頭および汐見地区小型船だまりなどの整備を進め、船舶・混雑緩和や複合・貫輸送機能を強化してまいります。

また、国際コンテナターミナルにおいては、ガントリークレーンの4基体制を構築し、荷役機能の向上と安定稼働に努めるほか、指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上やターミナル運営の効率化を図ってまいります。

海外ポートセールスにおいては、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、苫小牧港の優位性をPRし、知名度向上と港勢拡大につなげられるよう、関係機関と連携して取り組んでまいります。

雇用・労働環境の整備・充実

雇用・労働環境の整備・充実につきましては、企業による合同就職説明会への参加など、魅力発信や採用力向上を図る取り組みを支援し、市内企業の人材確保に努めてまいります。

また、職場改善に取り組む企業へのオーダーメイド型支援を実施し、従業員の職場定着や新型コロナウイルス感染症の状況に応じた働き方の導入など、企業が持つ多様な課題の解決をサポートしてまいります。

さらに、職人を目指す方や復職を希望する女性、就職氷河期世代の方などを対象として、研修や職場体験などを行う就業支援事業を実施し、雇用の確保に取り組んでまいります。公共工事の発注においては、新たに週休2日制の試行に取り組み、受注者の働き方改革や職場環境の改善、人手不足への対応に努めるとともに、早期発注や着手時期の弾力化などを継続してまいります。

3 地域で活躍する「ひと」を育むまちの形成

地域福祉の推進、高齢者福祉の推進、障がい者福祉の推進

地域福祉の推進につきましては、誰もが住み慣れた地域で孤立することなく、一人一人の

個性が尊重されるよう、地域住民が抱える多様な課題を包括的に受け止める相談支援体制づくりを進めてまいります。

また、「第3期苫小牧市地域福祉計画」に基づき、「ひと、ちいき、まち」に焦点を当て、自分らしく生きるための仕組みづくり、共に支え合う地域づくりの推進に向けて各種事業に取り組んでまいります。

高齢者福祉の推進につきましては、「苫小牧市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」に基づき、苫小牧版地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを進めてまいります。特に、とまこまい医療介護連携センターを活用し、多職種連携の強化を目的とした研修と、関係機関同士の連携に関わるルールづくりに取り組む、円滑なサービス提供体制を構築してまいります。

また、現在実施している介護職員就業支援事業を継続し、介護人材の確保を図るとともに、介護ロボット・ICTの活用を促進するなど、安定したサービスの提供に努めてまいります。障がい者福祉の推進につきましては、「あいサポート運動」を通じた障がい特性への理解促進に努めてまいります。

また、医療的ケア児の短期入所など在宅支援に向けた取り組みを継続しながら、障害者雇用奨励金事業などを通じて、障がいのある方の就労支援に取り組んでまいります。

8月には、「いけませ夏フェス2021 in とまこまい」が開催されます。全道各地の障がいのある児童や、その家族が一堂に会する多様な交流の場であることから、多くの方の参加・協力を通じて、ふくしのこころの機運醸成につなげてまいります。

子育て支援の充実

子育て支援の充実につきましては、「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認定こども園や小規模保育施設の整備を行い、保育需要が増加している3歳未満児の受け皿を拡充することにより、保育環境の充実と待

機児童の解消を図ってまいります。

また、児童虐待の防止に向けて、「苫小牧市子どもを虐待から守る条例」の周知・啓発に努めるとともに、新たに開設した苫小牧市子ども相談センターにおいて、室蘭児童相談所苫小牧分室と緊密な連携を図り、虐待のないまちづくりを進めてまいります。

市民スポーツの推進

市民スポーツの推進につきましては、延期されていた東京オリンピックの聖火リレーを6月に開催するとともに、男子卓球競技で日本代表に決定している本市出身の丹羽孝希選手をオール苫小牧で応援し、全国初のスポーツ都市宣言のまちからオリンピックを盛り上げてまいります。

また、8月に実施を予定しているパラリンピックの採火式や、バラスポーツ体験会を引き続き開催することにより、障がい者スポーツの市民理解に努めてまいります。

さらに、令和4年2月に開催される北京冬季オリンピックに、アイスホッケー女子日本代表のスマイルジャンが出場を決めています。水都ととまこまいから多くの選手が出場することを願い、市民丸ごと応援してまいります。令和5年度には、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)のソフトテニスおよびテニス競技の本市開催が決まっており、関連施設の整備を進めるほか、老朽化した各スポーツ施設の整備を計画的に実施し、安全で安心して利用できる施設環境を整え、スポーツによる活気あるまちづくりを推進してまいります。

主要施策

- 1 共に支え合い健やかに暮らすまち
- 2 明日を拓く力みなぎる産業のまち
- 3 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち
- 4 自然と環境にやさしいまち
- 5 安全・安心で快適に暮らすまち